

データの中への「'」シングルクォーテーションのセット方法

シングルクォーテーション「'」を文字列データとして扱ってほしい場合には、シングルクォーテーション「'」を2個並べて、連結させる。

もしくは、qまたはQに続けて「'」シングルクォーテーション、そして代替文字の記述を書き、文字列の終わりには、代替文字、「'」、そしてシングルクォーテーションの記述を書く

(使用例)

```
wk_string := ''' || '愛川 こずえ' || ''' ;
```

```
wk_string := '''愛川 こずえ''' ;
```

```
SQL> INSERT INTO sample VALUE('');
```

1行が作成されました

```
SQL> SELECT * FROM sample ;
```

(実行結果)

name

' ←1個

```
SQL> INSERT INTO sample VALUE(' ABC ');
```

1行が作成されました

```
SQL> SELECT * FROM sample ;
```

(実行結果)

name

'ABC'

```
SQL> INSERT INTO sample VALUE(q'# 愛川こずえ #');
```

1行が作成されました

```
SQL> SELECT * FROM sample ;
```

(実行結果)

name

' 愛川こずえ '

【展開】
q'#' こずえ #'

赤色部分が、囲み記号の役割を果たし、この中の文字列は、すべて表記どおりに Oracle へ取込まれる

(使用例)

目的文字列：

```
SELECT user_no FROM user_table WHERE user_name = '愛川こずえ' ⇐
```

対応ソース・コードの記述

```
DECLARE
    wk_sql VARCHAR2(150);
BEGIN
    wk_sql := 'SELECT user_no FROM user_table WHERE user_name = '
        || ''' -- シングルクォーテーション「'」を4個
        || '愛川こずえ'
        || ''' ; -- シングルクォーテーション「'」を4個
END ;
```

目的文字列：

```
SELECT user_no FROM user_table WHERE user_name
LIKE '*こずえ*' ⇐
```

対応ソース・コードの記述

```
DECLARE
    wk_sql VARCHAR2(150);
    wk_ename IN SCOTT.user_table.user_name%TYPE DEFAULT NULL ;
BEGIN
    wk_ename := '愛川こずえ' ;
    wk_sql := 'SELECT user_no FROM user_table
        WHERE user_name LIKE '
        || '''* -- シングルクォーテーション「'」を3+1個
        || wk_ename
        || '*''' ; -- シングルクォーテーション「'」を1+3個
END ;
```